

2 8月の見通し

野 菜

8月は上旬までは各品目順調な入荷が期待できるが、今年もかなりの高温が予想され、盆明け以降の入荷・相場の動きについては見通せない部分が多く、高冷地・準高冷地では高温と雨により、既にほ場での傷みが目立っている。

また、北海道が主力となる「だいこん」「にんじん」「ばれいしょ類」「たまねぎ」等は豊作傾向にあり、8月は月を通して潤沢な入荷となる見込み。

野菜全体としては入荷量は少なかった前年をかなり上回り平年並、単価は前年をかなり下回り、平年をやや上回る見込み。

果 実

8月は多くの品目で生育良好で、多くの品目で前年並かやや増の入荷量となることが見込まれ、全体としては需要喚起と数量消化が重要な月となる。

「日本なし類」は九州産地と関東産地の出荷ピークが重なり、入荷は潤沢な一方で荷動きは緩慢になる見込み。「もも類」は前進傾向の産地もあるが大きな端境はない見込み。「メロン類」「すいか（大玉）」は旧盆需要から堅調な販売が見込まれる。

果実全体としては入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回り、価格は前年並からやや高値で推移する見込み。

品 目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備 考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
トマト	↗↗	↘↘	↘↘	↗↗	主産地は北海道、青森県。上旬は夏秋産地が出揃い潤沢な入荷となる見込みだが、中旬以降は花飛びや小玉傾向による入荷量減少が懸念される。 予想入荷量は北海道及び東北産地が不作となった前年をかなり上回るものの、面積の減少が進んでいることから平年をかなり下回る見込み。
さといも	⇒	↘↘	↘↘	↗↗	主産地は千葉県。気温・降雨ともに適度であったことから生育は順調で、目立った病害虫の発生もない。 予想入荷量は前年並だが、産地面積減少などから平年をかなり下回る見込み。
かんしょ	⇒	⇒	↘	↗	主産地は千葉県、茨城県。定植期間に適度な降雨があったことから、各産地活着は良好。生育期に曇雨天が多く、日照不足となったため、若干づつ伸びが遅れている。 予想入荷量は前年・平年並の見込み。
日本なし	↗↗	⇒	⇒	↗↗	主産地は栃木県、茨城県、千葉県。前年より玉肥大が進んでいるため、入荷量は多くなることが見込まれるが、平年より5日ほど開花が早いことから旧盆直前に端境となる可能性もある。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上